

「簡易な施工計画」作成の注意点

総務省が進める「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」により、徳島県電子入札システムでは、平成29年7月1日より一太郎ファイルの取扱いができなくなりました。

このため、総合評価（簡易な施工計画）申請書（様式2）の標準様式をワードファイルに変更しています。

平成29年7月1日以降に簡易な施工計画を「一太郎」で作成して申請する場合は、**PDF形式に変換**して申請してください。

なお、簡易な施工計画をワードファイルで作成した場合も、なるべく**PDF形式にて提出**するようにしてください。

共同企業体名：

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：緊急地方道路整備工事

評価項目	「品質・施工の確認方法、管理方法」の適切性
具体的な施工計画	
<p>○本トンネル工事の品質・施工管理について トンネル構造物の長寿命化を図るためには、施工精度及び品質を確保した支保工、覆工コンクリート工およびコンクリート舗装工が必要となる。 そのため、支保工においては、トンネル掘削、吹付けコンクリート施工後に生じる掘削断面の変化を考慮した支保工の設置、地山からの水を遮断する防水工の適切な施工、掘削断面の変化を早期に発見することが必要である。 また、覆工コンクリート表面のひび割れは中性化を促進させることから抑制する必要がある、さらに、コンクリート舗装のひび割れは、劣化を早めるだけでなく、走行性にも影響を与えることから抑制する必要がある。</p> <p>これらのことを踏まえて、次の全ての事項について具体的に記述すること。</p> <p>① 支保工（吹付工は除く）の施工管理に関すること</p> <p>② 覆工コンクリートのひび割れの抑制に関すること</p> <p>③ コンクリート舗装のひび割れの抑制に関すること</p>	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

共同企業体名：

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：緊急地方道路整備工事

評価項目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
具 体 的 な 施 工 計 画	
○トンネル掘削時の地すべりブロックへの対応やトンネル掘削などに伴う工事排水の環境対策および建設産業の将来の担い手育成に関する取り組みについて	
<p>当該トンネルは、起点側坑口付近に地すべりブロックがあり、地すべりブロックについては、アンカー等により対策工は完了しているが、現在も伸縮計による斜面観測を行っており、トンネル掘削に伴う変状の発生に留意する必要がある。</p> <p>また、施工箇所下方には祖谷川が流れ、鮎釣りや観光などで有名な吉野川との合流点からも近いことから、工事に伴い発生する濁水が環境に与える影響を低減することが求められている。</p> <p>さらに建設産業の担い手育成の観点から、この工事の施工においては、県民の建設産業への関心を深めるための取組（例：実際の施工現場を活用した作業体験等）を実施することとしている。</p> <p>そのためには、取組の提案や提案を実施する際の関係機関との事前調整、安全確保等が求められる。</p> <p>これらのことを踏まえて、次の全ての事項について具体的に記述すること。</p> <p>①起点側坑口付近に存在する地すべりブロックに対し施工上配慮すべき事項</p> <p>②工事に伴い発生する濁水が、環境に与える影響の低減について配慮すべき事項</p> <p>③建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等</p> <p>※③の有効な取組については、その費用を<u>変更契約の対象とする（入札額には含めないこと）</u>。</p> <p>※③の申請について、受注後、関係機関等との事前調整の結果、実施ができないと判断できる場合は、受注者は「同等又は同等以上」の履行義務を負わない。</p>	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

共同企業体名：

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：緊急地方道路整備工事

評 価 項 目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
具 体 的 な 施 工 計 画	
<p>①起点側坑口付近に存在する地すべりブロックに対し施工上配慮すべき事項</p> <p>②工事に伴い発生する濁水が、環境に与える影響の低減について配慮すべき事項</p> <p>③建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等</p>	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

＜記述上の留意点＞

共同企業体名： _____

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名： **緊急地方道路整備工事** ←※工事名が間違っていないか確認を！

評価項目	「施工上の課題への対応」の的確性
具 体 的 な 施 工 計 画	
<p>〇〇ということ（工事特性）に鑑み、〇〇する観点から、次の事項について記述すること。</p> <p>① 〇〇・・・ ② △△・・・ ③ ■■・・・ ④ ××・・・</p> <p>※①の項目についての記述に対して、②の項目で評価することはないので、テーマに沿った記述になっているのか、再確認を！</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>特に具体的な施工計画（「工程管理」の適切性に係る（補足：工程表）を除く。）を記述する枠（以下「記述枠」という。）内の文字の大きさの規格は10.5ポイント以上とする。 なお、「記述枠」の規格値は縦21.0cm、横17.0cm以内とし、55行以内で規格値以内の「記述枠」内にアンダーラインを使用しないで記述することとし、アンダーラインを使用して記述した箇所については、評価の対象としないので注意すること。 また、執行機関での印刷結果において、以下の項目に一つでも該当する場合は、「記述枠」内の全ての記述を評価の対象外とする。</p> <p>① 文字の大きさが明らかに10.5ポイントを下回る場合 ② 「記述枠」が縦・横いずれか一方でも規格値から5mmを超えて大きい場合 ③ 「記述枠」内に56行以上の記述がある場合 ④ A4版でない場合 ⑤ 指定の枚数を超えて記述している場合</p> <p>注1：手書きの場合も同様とする。 注2：文字のうち、写真・図・表等（以下「図表等」という。）の表題、図表等と一体とみなすことができる名称等、また、英数字・単位・記号・カタカナ等は上記①の対象外とする。 注3：「記述枠」内に県が記載している文章については、テーマ番号以外は削除しても良いが、記載が残っている場合は、行数に含める。 注4：空白行は、行数に含めない。 注5：写真・図は行数に含めないが、表中の行は行数に含める。</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">＜記述枠：縦21cm×横17cm以内に制限＞</p>	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字に**アンダーライン**を使用しないこと。